

茨城県景気ウォッチャー調査結果 (平成20年6月調査)

～現状判断DI及び先行き判断DIとも調査開始以来の最低値～

調査の目的

- ・経済の第一線で働いている方々から、景気に関する生の情報を得ます。
- ・その景気に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに、迅速に公表します。
- ・県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気判断の基礎資料となります。

調査の概要

- ・調査客体数…県内5地域（県北，県央，鹿行，県南，県西）ごとに60名，計300名です。
- ・調査内容…景気の詳細，先行き判断とその判断理由を質問します。
- ・調査時期…四半期（6，9，12，3月）ごとに実施し，翌月公表します。

調査結果の概要（回答率 98.0%）

- ◆ 県全体の現状判断DI及び先行き判断DIは，ともに平成14年12月の調査開始以来，最も低い値となりました。
- ◆ 地域別の現状判断DI及び先行き判断DIは，ともにすべての地域で横這いを表す50を下回りました。
また，県央，鹿行，県南，県西の各地域の現状判断DI及び先行き判断DIは，ともに平成14年12月の調査開始以来，最も低い値となりました。

景気現状判断DI	景気先行き判断DI	※DI（Diffusion Index） 景気動向を判断するために使用される指標の一つであり，景気の方角性（景気が上向きか下向きか）をみるもので，50が横這いを表しています。 茨城県景気ウォッチャー調査では，回答を区分ごとに点数であらわし，その点数を回答構成比（%）で乗じてDIを算出しています。
県全体 30.2（-6.3）	県全体 31.3（-9.1）	
県北地域 32.5（-2.1）	県北地域 34.6（-5.4）	
県央地域 30.5（-5.9）	県央地域 30.9（-9.0）	
鹿行地域 25.4（-8.9）	鹿行地域 27.1（-14.4）	
県南地域 34.2（-6.9）	県南地域 29.6（-7.3）	
県西地域 28.4（-7.6）	県西地域 34.3（-9.3）	
※（ ）は前回調査（平成20年3月）との比較をしたものです。		

○3か月前と比較した景気の詳細判断DIは，前期（3月調査）比6.3ポイント低下の30.2となり，横這いを表す50を4期連続で下回りました。また，これは平成14年12月の調査開始以来，最も低い値です。

「家計動向関連DI」は前期比7.2ポイント低下し，4期連続で50を下回りました。これは，物価等の高騰及び客数や客単価が減少したというコメントが多かったこと等によるものです。「企業動向関連DI」は，原材料費等の高騰に伴うコスト増を販売価格に転嫁することが困難なことによる収益悪化を挙げる業種が多く，前期比4.2ポイント低下し，5期連続で50を下回りました。また，「雇用関連DI」は，地域や業種によるバラツキが見られるものの，企業減益の影響により，前期比7.0ポイント低下し，3期連続で50を下回りました。

■調査から

〈主なコメント〉

- ・客単価が下がっている。単価の高い商品が売れなくなっている。夜間の客数が減少している。(コンビニエンスストア)
- ・原材料や包装資材等、製造過程の総てに値上げが影響しているが、商品は値上げできず非常に苦しい状態である。一方、消費者の購買意欲は極端に弱くなってきていると感じる。(小売業〔菓子販売店〕)
- ・物価高の世相のなか来店頻度が減少傾向にある。特に、高齢者の来店頻度が減少している。(美容室)
- ・原油高騰に伴い樹脂材料、梱包材料、運送費等の値上りに加え、自社の燃料・動力費等にも影響が拡大し、かつ、鉄鉱石の高騰により鋼板(薄板)・棒鋼等の値上りに伴い自社の努力にて吸収出来る範囲を超え、各取引先に価格見直しを要請しているが、全てを価格に転嫁することが難しく、収益の確保がさらに厳しくなっている。また、原油高騰は従業員の旅費・交通費にも波及し、会社負担が増加している。(製造業〔輸送用機械器具〕)
- ・新規求人数が4か月連続で減少しており、減少幅も12.6%(直近3か月平均前年比)と大きい。また、新規求職数は、3か月前との比較では11.0%増となっている。(公共職業安定所)

○3か月先の景気の先行き判断DIは、前期(3月調査)比9.1ポイント低下の31.3となり、横這いを表す50を3期連続で下回りました。また、これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。

「家計動向関連DI」は前期比9.7ポイント低下し、3期連続で50を下回りました。これは、今後も物価等の値上げがさらに続くと予想される一方で所得が伸びず、買い控え傾向の一層の悪化を危惧する声が多かったこと等によるものです。「企業動向関連DI」は、原油や原材料等の値上げが拡大しており、コスト増への対応に伴う収益悪化がさらに進むのではないかとの声が多数寄せられ、前期比7.1ポイント低下し、5期連続で50を下回りました。また、「雇用関連DI」は、地域や業種によってバラツキがありますが、企業減益の影響により前期比11.4ポイント減少し、3期連続で50を下回りました。

〈主なコメント〉

- ・まだまだ、多岐にわたって値上げが予想される。しかし、所得はそれに伴わない。よってどうしても買い控えが起こる。(商店街代表者)
- ・ガソリンや燃料、小麦等の値上りは今後も続くと思われる。既に、消費者の節約は食料品や衣料品から始まっており、今後も売上げには期待できない。(スーパー)
- ・原油価格と、それに伴う価格転嫁次第だが、あまり期待は持てないと思われる。価格転嫁による販売量の落ち込みも懸念される。(製造業〔化学工業〕)
- ・原材料類の価格の高騰は、さらに3か月後にもう一波が予定されている。それらを考慮すれば、景気は悪い方向に向かうと思う。その結果、鉄離れ(高価な鉄から、安価な素材等に転化する)が発生し、製造業を取巻く環境は良くない状況に向かうものと思われる。(製造業〔電気機械器具〕)
- ・物価や燃料費の上昇により、人材を減らす傾向にあり、人件費や販促費、広告費等を削減する企業も増え、求人も全体的に少なくなっている。(求人広告)

地域別の動向

地域別の現状及び先行き判断DIは、全ての地域で横這いを表す50を下回りました。

1 県北地域

(1) 現状判断：景気の現状判断DIは32.5となりました。前期比2.1ポイント低下し、横這いを表す50を5期連続で下回りました。業種別にみると、家計動向関連DIはわずかに上昇しましたが、企業動向関連DI及び雇用関連DIは低下しました。

〈主なコメント〉

- ・ガソリンの値上げ、後期高齢者医療制度問題等で消費マインドが減退気味である。(商店街代表者)
- ・原材料価格の高騰により、材料費率が上昇し、原価割れ商品もでてきている状況である。販売価格に即転嫁できないため、非常に厳しい状況である。(製造業〔電気機械器具〕)

(2) 先行き判断：景気の先行き判断DIは34.6となりました。前期比5.4ポイント低下し、横這いを表す50を3期連続で下回りました。また、先行き判断DIは全県を通じて最高となりました。業種別にみると、雇用関連DIは上昇しましたが、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは低下しました。

〈主なコメント〉

- ・多分景気は良くないと思う。ガソリン、食料品の価格が上がり、無駄なお金を使わないだろう。タクシーは用事がなければ使わないと思う。先が見えない。(タクシー運転手)
- ・原油、鉄関係の価格が大幅に上昇しつつあり、製品への価格転嫁を検討する方向である。(製造業〔電気機械器具〕)

2 県央地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断DIは30.5となりました。前期比5.9ポイント低下し、横這いを表す50を4期連続で下回りました。また、これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。業種別にみると、雇用関連DIは横這いでしたが、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは低下しました。

〈主なコメント〉

- ・最近3か月でガソリン代等も含め諸物価が高騰しており、また、後期高齢者医療制度等の話題もあり、閉塞感が増している。(金融業)
- ・4～5月にかけ資材が値上りし、予算を超えた建築物件の延期・中止等がみられる。(建築設計事務所)

- (2) **先行き判断**：景気の先行き判断DIは30.9となりました。前期比9.0ポイント低下し、横這いを表す50を4期連続で下回りました。また、これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが低下しました。

〈主なコメント〉

- ・原油価格がさらに高騰傾向にあり、また、岩手宮城内陸地震等自然災害の影響も懸念され、夏休みや秋の行楽シーズン中の旅行離れが心配される。(旅行代理店)
- ・レストランの家族の利用等が少なくなるような気がする。また、夏場の予約も例年と比べ少なく、この先伸びる感じがしない。(都市型ホテル)

3 鹿行地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断DIは25.4となりました。前期比8.9ポイント低下し、横這いを表す50を3期連続で下回りました。また、現状判断DIは全県を通じて最低となりました。さらに、これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。雇用関連DIは横這いでしたが、家計動向関連DI及び企業動向関連DIは低下しました。

〈主なコメント〉

- ・原材料や包装関係等、製造過程の総てに値上げが影響しているが、商品は値上げできず非常に苦しい状態である。一方、消費者の購買意欲は極端に弱くなってきていると感じる。(小売業〔菓子販売店〕)
- ・原材料価格の高騰による大幅な経費の増加と、価格転嫁の遅れにより、短期間で大きく減益となっている。(製造業〔化学工業〕)

- (2) **先行き判断**：景気の先行き判断DIは27.1となりました。前期比14.4ポイント低下し、横這いを表す50を3期連続で下回りました。また、先行き判断DIは全県を通じて最低となりました。さらに、これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが低下しました。

〈主なコメント〉

- ・ガソリンや燃料、小麦等の値上りは今後も続くと思われる。既に、消費者の節約は食料品や衣料品から始まっており、今後も売上げには期待できない。(スーパー)
- ・鹿嶋市大野地区の市街化調整区域指定の影響で、都会からの移住者が少なくなっており、移住者用住宅の着工件数が減少している。さらに、地元住民の建築着工件数も減っているため、建設業者の景気はこの先一層悪くなると思う。(建設業)

4 県南地域

- (1) **現状判断**：景気の現状判断DIは34.2となりました。前期比6.9ポイント低下し、横這いを表す50を3期連続で下

回りました。また、これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値ですが、現状判断DIは全県を通じて最高となりました。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが低下しました。

〈主なコメント〉

- ・3月末から4月末までガソリン税暫定税率の問題があり、この業界システムの変更等で大変な労務になってしまった。また、原油高騰でさらに価格が上昇しており、客に説明しても理解してもらえない。(ガソリンスタンド)
- ・3か月前と同じく、食材等の値上げがまだ続いており、終息する気配がない。配送経費も上昇し、悪い所ばかりが目立つようになった。客の要望にできるだけ対応するための経費削減も限界にきている。(製造業〔食料品〕)

- (2) 先行き判断：景気の先行き判断DIは29.6となりました。前期比7.3ポイント低下し、横這いを表す50を3期連続で下回りました。また、これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが低下しました。

〈主なコメント〉

- ・夏が過ぎ、秋の始まりの頃から原油高騰や原材料の値上げなどの影響がさらにでてくると思われる。これから夏場にかけて食品を始め生活必需品の大半が値上げになる見込みである。中国四川省の大地震の影響や北京オリンピック後の中国製品の値上げも出てくるのではないかと。さらに、暖房の主力燃料は灯油が高い構成比を占めているため、財布のヒモも堅くなり景気は悪くなっていくと考えられる。(専門スーパー)
- ・客の志向が、安全・安心な商品作りに加え健康的な商品を求める等、商品に対する要望は細かくなっている。今までのようなやり方(運用)では利益が確保できない。今後も大変厳しい状況が続くと予測される。(製造業〔食料品〕)

5 県西地域

- (1) 現状判断：景気の現状判断DIは28.4となりました。前期比7.6ポイント低下し、横這いを表す50を4期連続で下回りました。また、これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが低下しました。

〈主なコメント〉

- ・ガソリンを満タンまで給油せず、「10ℓ」や「1,000円分」といった定量、定額給油の客が増加した。また、ハイオク仕様の車でもレギュラーに切り替えて給油したり、普段はワックス洗車の顧客が、安価な水洗い洗車に切り替えたりしている。そして、なによりも、来店数、ガソリン総販売量が減少している。(ガソリンスタンド)
- ・家計収入確保のため、子供を学童保育に預けてでも働きたいという主婦が増えてきている。(就職相談員)

- (2) 先行き判断：先行き判断DIは34.3となりました。前期比9.3ポイント低下し、横這いを表す50を5期連続で下回りました。また、これは平成14年12月の調査開始以来、最も低い値です。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが低下しました。

〈主なコメント〉

- ・最近はお前の回数が減少し、客単価も低下している傾向が見られるので、3か月先は売上げが減少しているのではないかと。 (和食食堂)
- ・材料の値上り分を価格に反映できる見通しが立たない。(製造業〔印刷・同関連業〕)

(注) 本調査の結果報告書(全文)は「いばらき統計情報ネットワーク」に掲載しておりますので、ご参照ください(PDF形式)。

URL : <http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>